

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月30日

事業所名: 児童発達支援 CYS school 辻堂教室

対象人数(保護者)25人 回答者数 20人 回収 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			
適切な支 援の提 供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※1)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1		
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20			
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		
保護者へ の説明等	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	6	7
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	1	2
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	2	5
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		2
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			
非常時等 の対応	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		2
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1
満足度	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	20			
満足度	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20			

※1: 支援プログラムはCYS school HPに公表されています。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月30日

事業所名: 児童発達支援 CYS school 辻堂教室

対象人数(保護者)25人 回答者数 20人 回収 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※1)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1		
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20			
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		
保護者 への 説明等	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	6	7
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	1	2
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	2	5
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		2
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			
非常時 等の 対応	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		2
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1
満足 度	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	20			
満足 度	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20			

※1 : 支援プログラムはCYS school HPに公表されています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	CYS school 辻堂教室				公表日	2026年3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1	・部屋を3つに区切り、グループごとに回って手持ち無沙汰にならないようにしている。 ・ワンフロアのため仕切り等がなく、個別対応やグループ分けして活動を行うことが難しいが、パーテーションや棚で仕切るなど、できるだけ環境整備を行なっている。	・天井や上から吊るせる物（フック）があると、活動の幅が広がりやすい。 ・活動や動線を考え、教室内をより適した空間設定にする。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	1	・加温器の導入や棚の増設など、設備面でいくつかの課題を改善があり、動きやすくなったと感じている。	・職員体制については、個々の対応が必要な児が多く、職員が足りない時もあった。 ・発達の特性に合わせた対応がパーテーションだけでは難しいと感じることがある。 ・安全に配慮した上で個別に使用できるスペースが作れたらよい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	1	・事前の職員配置なども細かく指示があるので職員が支援に集中できる環境になっていると思う。	・子供たちのできるを育てるのであれば片付け方が明確で、できた事がわかりやすい設備が必要に感じる。 ・感染予防が難しい中、清掃など細やかな対策が必要とも思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	2		・オープンスペースのため安全を確保することが難しい場面、時間帯は、職員が声を掛け合っで見守っているが不安があり、環境改善策があるとよい。 ・おもちゃの種類が多く、探すのに困る時がある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	3		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	3	・できるだけ、協力して空いている時間に日誌や連絡帳を記入しているようにしているが、個別配慮が必要なお子さんが多く難しいと感じている。	・PDCAサイクルに関して日々の業務に追われ、振り返りをする機会がもてず、実践できない。 ・職員研修が不足している。内部研修でもよいのでもっと開催してほしい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		3	・掃除の時間や業務をするために送り出しを早めできるようにしている。 ・職員会議で必ず意見交換の時間を設け、職員間で話し合えるように努めている。	・職員が話し合う時間を創出するためにも、業務効率を上げる。 ・より多くの職員が業務時間内に研修や講義に参加できる職員配置にしておく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		4	・研修はできるだけ受講できるように調整する、また受講した場合は研修内容を職員間で共有している。	・全てのスタッフが全ての業務に関わる必要ではないか。 ・職員会議で子どもについて話し合う時間があるが、なかなか踏み込んで話さきれていないと感じる。結果として自分の支援について迷いが解消しない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	5	・定期会議にて研修を受講しているが時間内に終わり切らなかった場合、別途時間を取って受講できるように配慮されている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	2		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		2	・お子さんの発達や年齢でグループを分け活動内容を少しずつ変えている。 ・個別にプリント学習やゲーム等を取り入れている。	・保護者のニーズにできる限り対応したいが、対応が多岐に渡り、子ども自身、職員に混乱が見られる場合がある。ミスにつながるリスクもあるため、対応について検討、保護者への説明等についてはどうか。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		1	・安全に安心して過ごせるように配慮や声掛けを心がけている。	・個別支援計画書を作成するにあたり時間を捻出するのは難しいがどういったことが課題なのか、集団の中で支援できることは何かをスタッフみんなで考える機会があっても良いと思う。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		2	・支援について工夫が必要と思われる利用児については、別途の観察記録をつける試みを行なっている。	・支援終了後その日の支援についての振り返りはできるだけ行なっているが、勤務時間が異なる非常勤職員への伝達が漏れるなど、不足部分がある。漏れなく全職員で伝達共有する、またより良い対応について話し合う時間を設ける必要がある。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		3	・利用児について気づいたこと、変化があった場合は記録に記載することを共通認識としている。	・業務量が多く、業務時間内に話し合いの時間がもう少しとれるようにしたい。 ・全てのスタッフが個々に合わせた支援内容をわかりやすい形で共有し、もっと話し合える環境があったら良いのではないかと。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		3	・職員間で、モニタリング期間には様子を報告しあったり、職員みんなで支援の方法について考えている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		2	・支援前に全体の会議を行い、活動のねらいや、活動時の動き方、お子様に関する注意事項について共有されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		1		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		1		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		3		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		1		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		2		
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		3		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		2	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連携、事業所間連携、保育所等訪問支援などを通じて情報共有を図っている。 ・保護者に向けて、市が主催する講習会などの情報提供を行なっている。 ・保護者からは関係機関からの報告等を聞き、支援に取り入れている。 ・登降室時、保護者が話しやすい環境設定、親身な関わりができていと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育参観等は、何を目的として行うのか、保護者に何を伝えるべきなのかをもう少しCVSとして明確にして欲しい。常勤スタッフが全員できるようになるためには指針が必要だと感じる。 ・地域連携の一環として、近隣施設への遠足や店舗に利用児と出向く行事を行なったが、他の子どもと活動する機会はまだ設けられていない。今後、検討していく。 ・地域のスーパーバイザーからの助言等はいただく機会が欲しい、また相談支援を必要とする保護者には情報を提起できる体制にしたい。 ・湘南エリア内の同法人保育園2園との交流等があってもいいのではないか。災害や有事の際など、いざという時のために、お互いの園の職員、お子様のことを少し知っておくことでスムーズに対応できることもあるのではないかと。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		2		
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		2		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のご家庭での様子を聞き取り、必要に応じて臨時面談を設けて話を聞き支援している ・保護者会を行い、保護者同士が繋がる機会を設けた。 ・藤沢市地域障がい児支援体制強化事業などを利用し、情報収集するとともに必要な情報提供に努めている。 ・支援内容、出来事、ケガなどその都度説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を招くような行事は行えていない。今後検討していく。 ・SNS等の発信までは業務量が多く、手が回らない状況である。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	3		
	42	個人情報取扱いに十分留意しているか。	7		1		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練はいろいろな形を想定して訓練していると思う。 ・てんかん発作、熱性痙攣の時の対応など、定期的に確認している。落ち着いて対応できるようにしたい。 ・非常時の対応については職員研修を行い、訓練や研修とともにより具体的現実的な対応ができるよう随時見直しを行なっている。ヒヤリハットは必ず共有し、事故になる前に防止していくよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について、基本的には行わないという認識のもと児童発達支援計画に記載していないが、やむを得ない場合は生じうる。どのように説明し計画に記載すべきか検討する必要がある。 ・訓練時にはパニックが起きにくいような配慮を行っているので、実際に起きた場合の想定があまりできていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	3		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CYS school 辻堂教室
-------	-----------------

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なアイデアを持ち寄り、意欲的に支援プログラムを作成している。	・2～3グループに分け、発達段階や特性を考慮してグループごとにプログラム内容をアレンジしている。 ・毎回の活動内容や様子を共有し、改善案を話し合っている。	・特性理解やアセスメント手法をより向上させるため、研修やケース会議等を行っていく。
2	設備や環境を踏まえて、活動や訓練を実施している。	・今ある設備や環境を活かして、より安全に充足した活動を行うよう試行錯誤している。 ・特性や状況を考慮した避難訓練を実施している。	・設備の修繕、配置の見直しなど環境設定をより整えている。 ・職員間で意見交換を行い、アイデアの抽出を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	・子ども同士の交流の受け入れ先をどう見つけるか。 ・地域交流につながるような行事がない。	・同法人の近隣保育園との交流を検討する。 ・地域交流を目的とした行事や活動の創出。
2	支援の統一	・モニタリング会議や研修などが十分に行えておらず、職員間で支援の統一ができていない。	・職員間で話し合う時間を持つための、業務効率化。 ・児童の日々の様子や対応等を漏れなく共有するツールの獲得。

従業者向け

保育所等訪問支援評価表

○本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制 環境 整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	2		訪問施設での困りごとに対応した教材を、支援員がいない時にも使える形で提供するよう心掛けている。 絵カードや視覚支援を教材として使用。訪問の際にも持参し、活用した。 今後訪問施設数が増えた場合に対応できる職員の確保。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		藤沢市が主催する保育所等訪問支援事業所情報交換会や研修に参加している。 訪問支援に特化した研修を事業所内で行いたい。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		利用児が同事業所の児童発達支援をご利用いただいていることから、訪問先での課題を教室へフィードバックしフォローしている。 支援の方法について話し合い、提供までの具体的に設定した。 職員体制が2名のためチーム支援としては手薄感がある。職員数の充実を図り、よりお子さんへの視点や意見交換を充実させた支援に取り組みたい。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		利用児が利用している他事業所と事業所間連携をとり、訪問支援の内容を共有している。 保護者と定期的な面談を実施している。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		同事業所の利用児だから対応できている部分が多い。今後、利用児以外の訪問支援を行う場合は対応体制を整える必要がある。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		訪問後の当日に簡単な報告を行うとともに、報告書をお渡しする。課題が出てきた場合は保護者に報告相談し、家庭との連携を図っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問の際には、園側の困りごとや支援の方針について話ができた。現在は訪問利用児が1人のため保護者交流などは行なっていないが、今後人数が増えた場合は機会を設けることを検討する。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		カンファレンスが充分に行えない場合は、後日報告書でのフォローをしっかりと行なう。 限られた時間内で的確に必要なカンファレンスを行う準備やスキルを、支援員がつけていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	訪問先の非常時対応を把握していないため、早急に確認し有事に対応できるように努める。 非常時の対応については確認しておらず、次回確認する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		2	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	1	

訪問先施設向け

保育所等訪問支援評価表

(訪問先施設の皆さまへ)

- 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。
 (詳細につきましては、別紙「保育所等訪問支援における評価制度(自己評価・保護者評価・訪問先施設評価)の導入について」をご参照ください。)
- 「はい」「どちらともいえない」「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			保育内で困っていることに対して、その日に解決策の案を頂けてすぐに実行できたので、とてもありがたかったです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			わかりやすいカードや資料を作っていただき、保育内で使用することができ、とても助かっています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1			すぐに解決策をいただきました。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			困り事はほとんど解決しています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			訪問支援をして頂けて、とても助かっています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CYS school 辻堂教室
-------	-----------------

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での児童発達支援施設との併設であることから、集団場面における事例をもとに相談支援にあたっている。	課題の解決においては、実践している支援内容や手法を用いながら、より具体的かつ迅速な対応を心がけている。	訪問員だけでなく、多くの職員の意見観点を取り入れて支援計画を立案し、支援にあたる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い訪問先での支援を行うための人材育成と訪問員の増強。	児童発達支援事業所の利用児以外のケースにも対応できる人材が不足している。	訪問支援に特化した研修や、現場経験を積み重ねることで、訪問員のスキルアップと育成を図る。